

●自然科学研究科生命科学専攻

[中学校教諭専修（理科）・高等学校教諭専修（理科）]

生命科学専攻では、分子細胞生物学および関連分野の高度な専門的知識を持ち、広い視野から創造的な教育活動を行なう能力を持ち、さらに科学の進歩と社会の発展に貢献できる教員の養成を目標としている。上記の目標を達成するために、教職課程においては、分子細胞生物学、統合生命科学、応用生物学などの講義の他、演習および実験などとの組み合わせにより、生命科学に関して高い専門性を身につけられるよう、徹底した教育を行う。

●人文科学研究科教育学専攻

[小学校教諭専修]

本学文学部は平成25年度に「2050年を展望した教師教育」の理念を掲げて、未来志向型の教員養成を実現する「教育学科」を新設したが、教育学専攻は、この「教育学科」と設立の理念を共有し、その理念を「高度の教職専門性を備えた教師」として結実させることを目的として平成27年度に創設された。この目的を達成するために、本専攻は「教職専門性基準」（5基準）を定め、この基準に則った専門家教育（professional education）としての教師教育を実現する。その際、専門家教育が「事例研究（case method）」による「理論と実践の統合」に本質があることに鑑み、教職専門の理論的基礎となる「概説」と理論と実践の統合の基礎となる「事例研究」、テーマを絞って深く探究する「特殊研究」によって教育課程を組織する。さらに、従来の「教職大学院」が教科内容の知識や教科教育の実践的能力を教育課程に組織してこなかったことを反省し、本学の質の高い教養教育の総合性を活かした「教職大学院」とは異なる教師の専門家教育を追求する。